

タブレット型端末専用 個人向け火災保険の見直しアプリを開発

株式会社損害保険ジャパン（社長 櫻田謙悟、以下「損保ジャパン」）は、個人向け火災保険のタブレット型端末※（iPad）専用アプリを開発し、2012年9月27日に提供を開始します。本アプリの活用により、火災保険の補償内容などについて、視覚的にわかりやすくご説明することが可能となり、お客さまの安心・満足につながる高品質なサービスの提供を実現します。

※Android用アプリは2012年11月提供予定です。

1. 開発の背景

損保ジャパンは2012年4月に、プレゼンテーションに適し、携行性のあるタブレット型端末専用の保険提案用アプリを開発しました。現在、保険販売時にペーパーレス・捺印レスで契約手続きを完結できる代理店システム「保険手続きNavi」のアプリや保険料試算アプリなど合計8種類のコンテンツを提供しています。

今般、台風や竜巻など自然災害が多発するなか、あらためて火災保険や地震保険の重要性が見直されていることを受けて、これらの保険の補償内容をご確認いただくことを目的に「個人向け火災保険の見直しアプリ※」を開発しました。

※損保ジャパンとともに、NKSグループを構成する日本興亜損害保険株式会社と連携して開発した「火災保険見直しチェックアプリ」、「火災保険見直しマンガアプリ」、「火災保険パンフレットアプリ」の総称です。

2. 「個人向け火災保険の見直しアプリ」の概要

（1）火災保険見直しチェックアプリ

現在ご加入いただいている補償内容を項目ごとにチェックいただき、火災保険の見直しのポイントをご確認いただきます。さらにチェックいただいた項目をもとに「火災保険見直し度」を表示することで、お客さまの火災保険の見直しをお手伝いします。



(2) 火災保険見直しマンガアプリ

新価契約・時価契約編、補償範囲編、家財の火災保険編、類焼損害編、地震保険編の各編のマンガを読んでいただくことで、不足している補償等に気づききっかけとなります。項目ごとに補償内容や契約時の注意点等を解説しているのです、お客さまにわかりやすくご説明をすることができます。



(3) 火災保険パンフレットアプリ

個人用火災総合保険『ほ〜むジャパン』のパンフレットを、タブレット型端末仕様に変換したものです。補償内容や確認が必要な項目について、1画面ずつ表示することで、お客さまにわかりやすく丁寧に説明することができます。



3. 今後の展開

損保ジャパンは、タブレット型端末を保険提案の有効なツールと位置づけ、「丁寧でわかりやすい」保険説明を実現し、お客さま満足の向上に努めていきます。

以上